

いのち・とき・なかま

豊中五中
学校だより
H28 (2016) 年
4.11 発行

65期生が入学しました 新年度のスタートです

4月7日、雨と風の天候でしたが、第65回入学式が予定通り行われました。当日は、多くの保護者の方、来賓の方がお祝いにかけていただき、ありがとうございました。そして8日には3学年そろって始業式を迎え、期待と緊張感が交錯する中、新たな気持ちでスタートをきることができました。

本年度も引き続き校長として、五中の子どもたちと学校生活を共におくることになります大塚淑彦です。保護者の皆様には、定期的にこのような「学校だより」を通して学校での様子や情報をお知らせしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



入学式から

吹奏楽部の演奏にあわせて、65期生の入場で始まった入学式。新入生を迎えるために、新3年生のみなさんが、体育館の会場準備、清掃、後片付け等、一生懸命動いてくれました。また今年度は、有志による校歌の合唱披露があり、たいへん好評でした。生徒会執行部の新入生引率、吹奏楽部の歓迎演奏、とてもよく頑張っていました。多くの人たちの準備と歓迎の中で、65期生114名のみなさんを迎えました。お祝いの式辞の一部を紹介します。

皆さんも知っての通り、五中の校舎は昨年春に建て替え工事が終わり、全く新しい環境に生まれ変わっています。65期生の皆さんは、入学した時から、もちろん新しい校舎を使うことができます。この素晴らしい環境の学校を、思う存分、そして大切にしてください。そしてこの新しい環境にふさわしい学校生活を、自分たちの力で作ってほしい。先生や先輩とともに、力を発揮してほしいと思います。楽しく、安心して生活できる中学校生活を、自分たち自身の力で創造してほしい。これが1つめです。

2つ目は「仲間づくり、友達づくり」です。新入生の皆さんには、この中学校生活で、ぜひ信頼できる友だちを作してほしいと思います。それは単なる遊び友達ではなく、しんどい時はしんどいと言える。何でも話せる、信頼しあえる。そんな友だち、仲間です。五中では、「いのち・とき・仲間を大切に」といつも言っています。人には、それぞれに良さがあり、違いがあります。外見だけでなく、性格や考え方・生活環境など、いろんなことが違います。一人一人、持ち味、個性があるのです。お互いの違いを認め、人を大切にする心をみがいてください。「隣の人の事を考えられる」、そんな皆さんであってほしいと願っています。

今年は1年が3学級でのスタートとなりました。2、3年より1クラス少ないですが、心配はいりません。お互いの事をよりよく知り、仲良くなれるチャンスなのです。

最後は、「自分自身を磨くこと」です。自分の課題を見つけ、それをのりこえていくこと、何事にもチャレンジする心、努力する気持ちを持ち続けてほしいということです。学習はもちろん、クラブ活動、生徒会活動、学校行事など、何事にも積極的に挑戦し、努力を続けてください。毎日の授業を大切に、家庭学習の習慣もしっかりつけていきましょう。

小学校を卒業する前、皆さんは、いろいろなことをクラスで話し合ったり、考えたりしてきたと思います。リーダーとして学校を引っばってきた経験もあるはずですよ。中学校でがんばりたいこと、自分のことだけでなく、仲間のこと、伝えたいことがきっとあるでしょう。

また皆さんは、将来、こんな人になりたい、こんな職業につきたい、こんなことができるようになりたい、と卒業式でしっかり夢を語っていましたね。素晴らしいと思いました。皆さんならできると思います。中学校は、その夢をより具体的なものにしていくための場所でもあります。小学校でつちかった土台をもとに、しっかり勉強し、色々なことを体験して 次のステップにいくための第一歩となるのが中学校です。

小学校は6年間、中学校はその半分の3年間ですが、心と体が大きく成長するときであり、大人に一步近づくときです。いろいろな悩みも出てくるかもしれません。思い通りにならないこともあります。そんな時は一人で抱えこまないで相談しましょう。親、先生、友達だれでも構いません。人と話すことで、不安やしんどいことは、きっと半分に、うれしいことはきっと2倍になります。自分を信じ、仲間と支え合い、自信を持って中学校生活をおくってほしいと願っています。

PTA 会長のお祝いの言葉

中学生活の3年間は、心身ともにどんどん変化し成長していくとても大切な時期です。皆さんは、これからさまざまな悩みにぶつかることと思います。勉強、友人、恋愛、そして将来に対する希望や不安などがきっと出てくることでしょう。勉強や部活が始まり、きっと毎日が忙しくなるでしょう。それぞれが、そんなに簡単に上手くいくことばかりではないと思います。大いに悩んでください。正面から向き合ってください。でも、それを乗り越えることで力が付きます。社会に対応できる能力が身に付きます。

世の中は、社会はすごい勢いで動いています。進化しています。日本を訪れる外国人の人数は過去最高になりました。一方で、日本の人口は4年連続で減少しています。また、インターネットを個人が使うようになってまだ20年、スマートフォンはまだ10年経っていません。社会はどんどん変化しています。皆さんも、私たちもそれに対応していかなければなりません。

そのためには、日々の学習が欠かせません。ここでいう学習は勉強だけではなく、もちろん、日々の授業が一番大切ですが、友達と話し一緒に何か取り組む、先生や大人たちと会話する、議論する。地域の活動やボランティアに参加し、家庭、学校以外の場で様々な経験を積むことです。大いに楽しんでください、大いに悩んでください。経験をたくさん積んで、これからの世界の変化に対応できる、活躍できる大人になってください。

最後に、新入生の皆さんが健康で明るく有意義な中学生活をおくることができるようお祈りして、お祝いの言葉といたします。

お祝いの言葉を受けて、新入生代表（毛利幸登くん）から

『五中校区では複数の小学校から生徒が集まり、学年の人数も増えるので、新しく出会った友達とも早く仲良くなり、楽しく中学校生活を送りたいです。また何事にもあきらめず、精一杯取り組んでいきたいと思います。』との力強い決意の言葉が語られました。

小学校の先生方等からのお祝いメッセージ紹介、吹奏楽部による歓迎演奏（ユーロビートディズニーコンサート）のあと、担任・副担任の先生方の紹介をして、入学式を終了しました。



始業式では

4月8日、新しい先生方の着任式の後、始業式を行いました。
新年度のスタートに、次のような励ましのメッセージを伝えました。

3学年がはじめて揃って、新しい1年が始まります。誰と同じクラスかな？担任の先生は誰かな、新しい先生？新しい教室はどんな雰囲気かな？ドキドキでしょう。友だちとの出会い、担任や副担任の先生との出会い、いろいろな出会いや「出会い直し」がある。これまで仲の良かった人と同じクラスになったり、別のクラスになったり、いろんなことを感じていると思います。1年生は、別の小学校から来た人と同じクラスになって、友達になれるかなあ、と感じている人もいます。

でも初めから気が合って、気持ちが通じてほっとする、そんな友達関係があるわけではない。時間をかけて作ってきたものだと思いますし、今後作っていくものだと思います。いろんなことを経験し、悩んで、時にはぶつかったりしてつくっていくもの。今は真っ白なノートも、文字や絵を描いていって、ノートができあがっていく、自分やクラスの歴史が作られていく。そんなものだと思います。1年間かけて、このクラスでよかったなー、と言える1年後を作っていってほしい。クラスは人から与えられるものではなく、自分たちで作るものです。

去年の春から新しい校舎、環境で学校生活を送っています。時々思い出しますが、校舎の工事には、南館と西館だけで、のべ1万9千人もの人が作業に携わっていたそうです。すごいですね。いろんな苦勞を聞くと、きれいな校舎を大切に使ってほしいと心から思います。このきれいな校舎を使いこなす、環境を生かすことを考えていきましょう。先生方と生徒のみんなで、力を合わせて、新しい学校生活を作っていきます。

入学や進学、新しい年のスタートの今。今年ががんばるぞ、という気持ちを皆、持っているはず。2、3年の人には、昨年末の修了式で、新しい学年になる心構えをしっかりと作ってきてほしいと言いました。どうですか？心構えはできていますか？

3年生、いよいよ義務教育最後の年、進路を決めていく節目の年です。最高学年になる気持ち、はできていますか？昨日の姿を見ていると、しっかりと自分の責任を果たしていて、とても心強く感じました。3年になったら絶対がんばる、そんな気持ちを持っている人が多いと

思います。今の気持ちを大事にしてほしい。クラブもあと半年ほど。悔いのないように、自分のベストを尽くしてください。1日1日を大切に。

2年生、クラブや生徒会など、学校の中心になっていきます。大いに活躍してください。成長できる時、いろんなことにチャレンジできる年です。学年便りにも載っていましたが、食べ物のサンドイッチに例えると、2年はその「中身」です。具沢山な、おいしい1年にしてください。クラブでは先輩になります。学習内容もぐっと増える。ここで頑張るか、ダレてしまうかは、大きな違いです。皆がやれる力、エネルギーを持っている学年です。湖畔学舎にむけた活動もスタートしています。良いところを生かし、取り組みを通して、心も体も成長していくのを楽しみにしています。

1年生、中学生になって、期待と緊張感が伝わってきます。昨日は天気が悪かったけど、すごいことがありました。一人も休まず、新入生全員がそろいました。保護者の方もとてもたくさん来られていました。中学生になった喜びが伝わってきます。初めてのことばかりで、緊張すると思うけれど、周りの人も同じです。自分がしてもらったらうれしいことを、隣の人にしてみよう。友達をつくっていきましょう。

どの学年の人にも共通して言いたいこと。今は節目、心機一転、自分をよりよく変えるチャンス、成長するチャンスです。昨年までの自分を振り返り、良かったところ、頑張っていた所は、もっと伸ばす。アカンかったところは直す。何となくダラダラしてしまっていることがあったら、気持ちを切り替える。もうひとつ。頑張ろうとしている仲間を支える、足をひっぱらない。しんどい時は、家族、先生、友達と相談する。先生の力を借りる。気持ちも新たに、1年間、元気にがんばっていきましょう。

最後に5中で大事にしている言葉を3つ紹介します。2、3年は何度も聞いてきた言葉です。

- ・生命 (いのち)・時間 (とき)・仲間 (なかま) にこだわり、一日一日の生活を大切に過ごす
- ・一人も残さず、最後のひとりまで
- ・夢バトン ~はみごのないまち・学校づくり~

仲間はずれない、安心して過ごしやすいまちや学校を作っていきたい、という先輩からのバトンを受け継いで、今年1年をみんなの力で、よりよいものにしていきましょう。

対面式では

始業式の後、1年生と2・3年生が初めて出会う場としての対面式を行いました。生徒会長（兵頭あかりさん）、新入生代表（堀本真央さん）それぞれが、歓迎の言葉、抱負の言葉をしっかり話してくれました。役員から各クラスに鉢植えの花が送られました。緊張の中にも、温かい雰囲気が感じられ、良い「出会い」ができたと思います。

